

共通講座⑦「防災意識を高めよう」

日時：12月17日(金)10:00～

場所：豊田市福祉センター
41 会議室



▲栗本 浩一氏

今回の共通講座は、安心安全なくらし「防災意識を高めよう」というテーマでした。

講師の栗本さんは、東北の被災地を何度も訪れていて、最近も行って来たそうです。その様子を写真で見ながら、震災前に普段からの声掛けがあって避難ができたお話などを聞きました。

それから、栗本さんが勤務している福祉施設の防災計画の表を見ながら、「会社」を「家庭」に読みかえることが、我が家のリスクマネジメントにつながると話されました。

豊田市は、地震・洪水・土砂災害ハザードマップ、防災・災害すごろくなど、各家庭配布したり、ホームページでダウンロードできたりします。ただ、意識をしていない人には目に留まることがなく、配布したものは捨てられてしまう、と話されました。

最後に、逢妻女川の増水による変化など写真を見ながら紹介され、災害は、遠くで起こることではなく、身近にあるものだと感じました。



【 学生のふりかえり より】

- ハザードマップの再確認をします。実際に現実を想定して備えを進めようと思っています。「マイタイムライン」を考える。
- 命だけ助かれば「何とかなるだろう」と呑気にかまえていたが、今日講座を受講して防災計画を立てる必要を感じた。今のうちにできることを考えて行動し、防災意識を高めて、周囲の人のサポートができるようにしたいと思った。
- 講話が具体的でとてもわかりやすく長い時間だったにも関わらず集中して聴くことができました。豊田市南部の事例で居住地にも近く興味深く写真や資料も見せていただきました。緊急持ち出し袋や備蓄用の食品類、家具類の固定など、今一度確認しなくてはいけないことが多くあることに気付かされました。備えの大切さがよくわかりました。
- ハザードマップは見ているし、避難場所もわかっているが、そこから先の準備が出来ていないことに改めて気付かされた。カセットコンロと水の備蓄から始めようと思う。話し大変上手で感心した。